

令和 6 年度 第 2 回宮崎支部評議会の概要報告

開 催 日 時	令和 6 年 10 月 29 日(火) 10:00～12:00
開 催 場 所	宮崎支部会議室
出 席 者	上山評議員・蔵本評議員・高橋評議員・谷口評議員・長鶴評議員・橋口評議員 藤元評議員・谷田貝議長・横山評議員（五十音順）
議 題	1. 令和 7 年度平均保険料率について 2. 令和 7 年度支部事業計画及び支部保険者機能強化予算の策定に向けた意見交換 3. その他
議 事 概 要（主な意見等）	1. <u>令和 7 年度平均保険料率について</u> 資料 1-1、資料 1-2、資料 1-3 に基づき事務局より説明 【事業主代表】 資料 1-1 2026 年度以降の賃金上昇率について、シミュレーションは難しいとのことだが、悪い時期の期間も含めた過去 3 年間の基に賃金上昇率を 2.1%としているが、実際には賃金を上げなければ、求人を行っても応募がない、雇用できない状況。現状、来年の賃金上昇率をもっと高いということは認識していただきたい。 【事務局】 確かに直近 3 年の賃金上昇率は上がっているが、根拠のないデータを示すことはできない。国の概算要求ともずれがないように作る必要があるためこのようなデータとなっている。直近の見込みが必要でないか、実態把握が必要でないかとの意見については、お伝えして参りたい。 【学識経験者】 毎年、シミュレーションをしているが、昨年のシミュレーションに対して結果がどうだったのかを示すべきではないだろうか。昨年の想定はどうであったか、間違っていたかどうかではなく、昨年の想定に対して結果はどうだったかを今後に生かしていくこともシミュレーションの精度をあげるために必要ではないか。 実質賃金と物価上昇を示したものもあってよいのではないかなど今後確認していただきたい。 【事業主代表】 シミュレーションの内容や説明から 10 年先まで考えると、平均保険料率 10%維持と今回の変更時期について異論はない。 資料 1-3 保健事業の一層の推進について、この先 2、3 年の取り組みだが予算の中に組み込まれているのか。 【事務局】 保健事業の推進については予算の中に組み込まれている。

【被保険者代表】

要望として、現在の準備金の積み立て状況が適正であるか検証していただきたい。準備金を単純に積み上げるだけではなく、目的をもったものとして積み立てるべきではないか。例えば、医療給付における不測の事態に備えた短期的なものと安定した運営をするための中長期的なものを区分けして計画的に積み立てを行うことなど検討いただきたい。

国庫補助率については20%を国に引き続き、要請をしていただきたい。

また、料率について全国の支部間で大きな差がある。医療費格差の縮小にむけた取り組みをぜひお願いしたい。

【事務局】

評議会の意見として本部に伝えて参りたい。

支部間の格差については、各支部で状況改善にむけて重点的に取り組みを行っている。

【事業主代表】

資料 1-2 単年度収支差と準備金残高等の推移について、2024 年の見込みをデータで出すことはできないのか。準備金の積み上がりは増えていくのか。2024 年末の見込みは出てこないものか。

【事務局】

現時点では 2024 年の見込みはデータで出てない状況である。

【被保険者代表】

国庫補助率について、準備金が増えすぎると国庫補助率が上がりにくいのではないか。

また、準備金があることで下がることはないのか。

【事務局】

保険料を引き下げた場合には、財政当局より、協会けんぽの財政状況が改善されていると捉えられ、国庫補助の引き下げにつながる可能性は高くなると考えられるが、準備金が積みあがることにより、補助金が引き下げられるような説明、懸念は聞いていない。

【事業主代表】

準備金の使い道について、高齢者など自己負担割合が上がってきている状況にあるため、負担の軽減など加入者のために活かした使い方をしていただきたい。

【学識経験者】

医療職場の関係だが、診療報酬も遅れてではあるが上がってくる。医療介護職場の賃金も遅れてではあるが、必ず上昇することは認識をお持ちいただきたい。

【学識経験者】

私が若い頃には料率 8.2%の時が 20 年ほどあった。今後、長い間加入いただく若い方に、保険料の使われ方や

安定的な健康保険財政に関して、若年層の意見を聞くことも大切ではないだろうか。そのような機会を設けて、若年層の意見も取り入れていただければと考える。

【議長】

それでは、令和 7 年度の平均保険料率 10%、保険料率の変更時期令和 7 年 4 月分について、異論はないか。

【評議員】

異論なし。

2. 令和 7 年度支部事業計画及び支部保険者機能強化予算の策定に向けた意見交換

資料 2 に基づき事務局より説明

【学識経験者】

被扶養者の健診受診率について、受診したら健康グッズがもらえるような付加価値があると受診率はあがるのではないか。

【事務局】

協会けんぽが付加価値として健康グッズを提供することはできないが、他県では他の団体とコラボして付加価値を生み出している事例もある。宮崎支部では健診項目を無料で追加することを実施している。

【学識経験者】

被扶養者の健診受診率について、なぜ低いのか詳しい分析が必要ではないか。

【事務局】

引き続き、被扶養者の健診受診率引き上げに向けて分析を行ってまいりたい。

未受診者に対しては、年度末の受診勧奨や土日を含む集団健診の開催日数増加など、受診しやすい環境整備に努めてまいりたい。

3. マイナ保険証への円滑な移行に向けた対応について

資料 3 に基づき、マイナ保険証に関する意見等確認

意見等なし

《特記事項》

・次回の評議会は、令和 7 年 1 月に開催予定